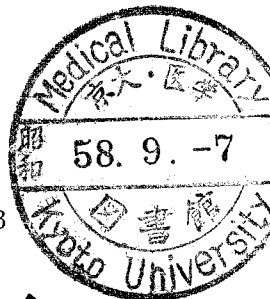


泌尿紀要
Acta Urol. Jpn.

禁帯出
到着後1ヶ月間



Vol. 29, No. 8 ACTA UROLOGICA JAPONICA August 1983

泌尿器科紀要

第29巻 第8号 1983年8月

Adriamycin 膀胱注入療法の病理組織学的検討	藤岡 知昭・ほか	869
前立腺癌の浸潤度判定におけるリンパ管造影の意義	林正 健二・ほか	875
膀胱腫瘍の病理組織学的研究		
第2報：局所リンパ濾法・immunoblast cell の意義について	安本 亮二・ほか	879
男子不妊症の臨床統計	中本 貴久・ほか	885
卵巣皮様嚢腫の膀胱穿孔の1例	近藤 典子・ほか	893
心不全症状を呈した腎動静脈瘻を伴う腎細胞癌の1例	仲田 浄治郎・ほか	901
転移性精索腫瘍(結腸原発)の1例	西村 一男・ほか	907
巨大膿腎症を伴った後腹膜悪性線維性組織球腫の1例	高士 宗久・ほか	911
女子尿道憩室腫瘍の1例	野口 純男・井田 時雄	921
成人巨大尿管の7症例	中村 正広・ほか	931
Ureteral Stent Encrustation (英文)	吉田 和弘・西村 泰司	937
原発性女子尿道癌の2例	山田 芳彰・ほか	941
複雑性尿路感染症に対する Fosfomycin と		
Dibekacin 併用療法の臨床的検討	天野 正道・ほか	947
尿路性器癌の骨転移による骨性疼痛に対するカルシトニンの効果	杉山 高秀・ほか	953
尿路感染症に対する Cefaclor の効果および		
酵素抗体法による ACB との関連性	山本 雅憲・ほか	959
膀胱腫瘍に対する Tegafur 坐剤の応用	三品 輝男・ほか	969
京都大学医学部附属病院泌尿器科外来患者の		
臨床統計(1977~1982年)	吉田 修・ほか	979
第32回泌尿器科中部連合総会 特別講演		
精巢生検よりみた特発性男子不妊症	三宅 弘治・ほか	991
精巣での LHRH および LHRH 様物質の下垂体外作用(英文)	Akira Arimura	1005
男子および女子の排尿障害(英文)	Donald M. Gleason	1009

Editor: Prof. Osamu YOSHIDA, M. D.
Department of Urology, Faculty of Medicine,
Kyoto University, Kyoto Japan 606
京都大学医学部泌尿器科学教室

購読要項 (1983年1月改訂)

1. 発行は毎月、年12回とし、年間購読者を会員とする。
2. 会員は年間予約購読料 6,000 円 (送料とも) を前納する。払込みは振替に限る。口座番号 京都5-4772 番 泌尿器科紀要編集部宛。
3. 入会は氏名、住所を記入のうえ編集部あて、はがきにて申し込めば所定の用紙を送付します。

投稿規定 (1983年8月改訂)

1. 投稿：連名者を含めて会員に限る。
2. 原稿：泌尿器科学領域の全般にわたり、総説、原著、症例報告、そのほかで和文または英文とする。
 - (1) 普通論文の長さは、原則として、刷上り本文7頁 (400字×28枚程度) 図 (Fig) 10枚、表 (Table) 5枚までとする。
 - (2) 和文原稿はB5版400字詰原稿用紙横書き、楷書、当用漢字、現代かなづかい、平がなとし、清書する。文中欧語の固有名詞は大文字で、普通名詞は小文字で始め、タイプし、年号は西暦とする。
 - (イ) 原稿の表紙に標題、著者名、所属機関名の順に和文、英文で併記する。下段に筆頭著者名 (山田：または 山田・ほか：) と、2語 (例：前立腺がん・PSAP) からなる running title および5語 (英文) 以内の key words を付す。
 - (ロ) 英文抄録：ダブルスペースでタイプし、その和訳をつける。
 - (ハ) 英文原稿はダブルスペースでタイプし、原稿の表紙に標題、著者名、所属機関名、key words (和文に準ず)、running title (和文に準ず) の順にタイプし、別に標題、著者名、所属機関名、抄録の順に記した和文抄録を付す。
 - (ニ) 数字はすべて算用数字を使用し、単位 m, cm, mm, l, ml, kg, g, mg, μ g, %, °C, pH などとする。
 - (ホ) 図、表、写真などはすべて別紙とし、写真はトリミングする。説明文は一括して記載し和文、英文を問わず Table 1., Fig. 2. などとする。英文が望ましい。原稿右欄外に挿入さるべき位置を明示する。とくに図・表は必ずタイプまたは楷書で清書し、誤りのないことを確認する。とくに、著者校正時、表中の数字の訂正をされないように願います。様式については本誌の図・表を参照する。
 - (6) 引用文献は必要最小限にとどめ、引用箇所を本文中に入れる。その数は30までが望ましい。和文は楷書で、欧文はタイプする。
(例：山田^{1,3,7)}, 田中^{1,3-10)}によると)
雑誌の場合—著者名 (全員)：題名、雑誌名
巻：最初頁～最終頁、発行年
単行本の場合—著者名 (全員)：題名、書名、編集者名、版数、巻数、引用頁、発行所、出版地、発行年
 - (7) 原稿を返却しないのでコピーを手元に残しオリジナルを書留で〒606 京都市左京区聖護院川原町54 京大病院泌尿器科紀要編集部宛送付する。
 - (8) 校正は初校を著者による責任校正とし、再校以降は編集部がおこなう。著者複数の場合校正責任者を投稿時指定する。
 - (9) 編集部は原稿の訂正、書き直しまたは返却を指定する権限を保持する。
3. 掲載
 - (1) 論文の掲載は採用順とする。迅速掲載には迅速掲載料を要する。
 - (2) 紙代、印刷費および最初1頁の組版費は編集部で負担する。残額を実費負担とし、請求は論文掲載誌発行後におこなう。論文の長さが超過した場合、超過料を別途に申し受ける。
 - (3) 薬剤の効果、測定試薬の成績、治療機具の使用などにかんする研究論文については、掲載料を別途に申し受ける。
4. 別刷

実費負担とし、著者校正時に部数を指定する。

宮崎 重 新谷 浩
吉田 修(主幹)